



四峡小・七峡小などで実施予定の 放課後総合プランで何が変わるの？

日本共産党荒川区議会議員団

横山幸次

区政報告
ニュース

552

2014年9月28日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターを
ご覧下さい。横山幸次
で検索して下さい。

荒川2丁目複合施設… 総事業費何と87億円超!?

すでに荒川2丁目複合施設の落札情報をお知らせしましたが、総事業費は87億円余にのぼることになりそうです。さらに、資材や人件費の高騰も見込まれており、90億円を超えることも予想されます。

総事業費
用地費16億円
工事費61億円
その他、図書、文学館などの設備関係で10億円

複合施設は、5階建・床面積1万㎡の建物で中央館機能の図書館(57万冊)と子ども施設、小ホール、吉村昭記念文学館などを併設する大型施設建設計画です。

共産党区議団は、繰り返し荒川図書館(築52年)の建替えに絞って規模を見直すことを提案しています。

「にこすく」も学童クラブのどちらも充実を
父母の意見をよく聞いてすすめるべきです
すでにお知らせしたように
荒川区は、来年度から四峡小、
七峡小、二瑞小の3校で放課
後「総合プラン」を実施する
計画を検討しています。区は、
早ければ11月区議会に条例改
正の提案をする予定です。
「ここにこすく」は、必ずし
も毎日行くわけではなく、時
間も不規則。学童保育クラブ
は、父母が共働きの基本的な
は毎日通う生活の場になりま

放課後「総合プラン」
「にこすく」平日終業時~17時
夏休みなどは9時~17時
年間保険料800円のみ
学童クラブ 17時~18時
延長あり~19時
・保育料月4,000円
・延長利用料は月1,000円
おやつ...17時以降 1,500円

「一緒にするなら」「にこすく」
まず、学童クラブの年間
スケジュールや生活を確立し
ていくべきです。

でもおやつを提供すればいい
のでは...等の疑問もでてきそ
うです。やはり、父母の声を
よく聞いて、実態に即した事
業にする努力が必要です。

右は、国が進める一体型イメージ図。「ここにこスクール」が17時まで。「学童クラブ」共通プログラム(宿題、予習、英会話・芸術教室...?)。おやつは17時以降にする計画。専用室は学童クラブだけです。まずは父母の声を聞くこと。



「多少建て詰まるが、建て替え促進のインセンティブになる」と建坪率を60%から80%に緩和。当時の都市計画審議会委員をしていた私は、「建て詰まって新たな木造密集地が生まれる」と警鐘を鳴らしたことを思



**木造密集地域でのミニ開発...
建て詰まる「建て売り住宅」で町の安全は?**
このところ、町屋地区の木造密集地域内で老朽化した住宅や小規模な事業所跡地に住宅メーカーによる建て売り住宅建設が目立つなど感じています。住宅の建設は、別に何の問題もありません。建て売りですから、南千住や日暮里のように保育園不足がすぐに生じるわけでもありません。しかし、建て売り住宅が、木造密集地域の改善につながるかというと、一概にそう言えません。荒川区は、かつて「多少建て詰まるが、建て替え促進のインセンティブになる」と建坪率を60%から80%に緩和。当時の都市計画審議会委員をしていた私は、「建て詰まって新たな木造密集地が生まれる」と警鐘を鳴らしたことを思

い出します。その予測の通り、建て売り住宅は、建坪率目一杯に住宅を造り、隙間はありません。その裏にある住宅の避難路は、路地一本になるところも。見直す時期です。
横山幸次

裏面 駅前再開発をどう考える...など

定例法律相談会

10月6日(月)
午後6時~8時
横山区議事務所

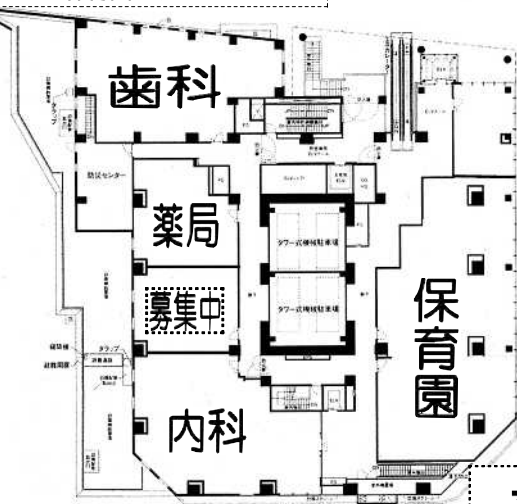
弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。
生活相談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

三河島駅再開発ビル・2階に保育園も



完売報道あるも...
まだ残っている様子?
3LDK 68.34㎡ 4,410万円
(13階東北角住戸)
2LDK 75.35㎡ 5,187.2万円
(20階東南角住戸)

上は竣工直前の再開発ビル
下の図は、商業・業務床の2階部分の平面図...やはり気になるのが保育園ですね!



めるべきものです。駅前開発優先は、もう見直すべきところに来ていないのではないのでしょうか。



一階店舗は、コンビニとすき家とオゾンといったチェーン店が入ります。再開発の超高層ビルにしては、どうな

駅前再開発は見直すとき

三河島駅前再開発の三河島ブランドタワー34階建て(120m)が竣工。総事業費約136億円のうち、区などの補助金が、なんと35億4千万円億円も投入されています。
当初は、1〜3階までは業務・商業床としてきましたが、最終的には3階以上は住宅で327戸。機械式地下自転車駐輪場408台。駐車場は1〜2階にタワー式で1355台です。

のでしょうか。また2階は、医療モールを標榜したようですが、出店が決まらない区画も生まれ、結局、保育園が進出しました。駅前再開発は3割近くが税金です。一部木造密集地域解消にはなりますが、町の活性化につながっていくのでしょうか。日暮里駅前再開発の結果を見れば、今後についても不安は残ります。住宅を増やせば、保育園・学校などが不足することがわかっていのに、手立ては、すべて後回しです。また園庭のない保育園ができます。さらに2019年には、日暮里地域で保育園不足約120人予測されています。まちづくりと社会施設の整備は、一体で進めるべきものです。駅前開発優先は、もう見直すべきところに来ていないのではないのでしょうか。

来年度からの第6期高齢者プラン... 住み続けることの出来る計画を

子ども・子育て新制度移行で 国庫補助金が減額...?

消費税10%増税と一体に自・公・民3党合意の「子ども子育て支援・新制度」で自治体の財源負担はどうなるか?議論になった。私立幼稚園、認証保育所保育ママなどは、これまで通り、私学助成や東京都の補助を選択。しかし、認可保育園(公・私・公設民営)36園と公立幼稚園8園と汐



家族介護で支えられないと介護保険サービスだけではなかなか大変です。特養ホームも待っている人が多くて、入所もままなりません。それに、グループホームや地域密着型施設もありますが、利用料などの負担が重く、利用できない方も多いのです。その他、介護サービス付きの高齢者むけ住宅なども不足ですし、やはり介護の負担軽減が必要です。

現実には、多くのみなさんが都外の施設や住宅などに移転されています。

荒川区の調査では、生活保護受給者の方の中で都外の介護施設や介護付き住宅に行かれた方が、6県37市に216人に登ります。それ以外でも500人以上の方が、移転しています。

この状況を改善し住み慣れたところに住み続けることが出来る環境作りが、来年の荒川区高齢者プラン見直しでも大きな課題です。

区内から移転地	有料老人ホーム	サービス付き高齢者住宅	合計(人)
千葉県			
千葉市	2		2
柏市	1		1
川口市	4		4
水戸市	7	7	14
土浦市	3	25	28
石岡市	14	3	17
筑西市	1		1
かずみがほ市	11	13	24
小美玉市	12		12
福敷郡	2		2
茨城県			
東茨城郡	8	2	10
日立市		5	5
龍ヶ崎市		3	3
下妻市		1	1
空問市		1	1
つくば市		1	1
守谷市		4	4
常陸大宮市		3	3
行方市		1	1
栃木県			
足利市	10	1	11
日光市	1		1
佐野市	2		2
太田市	7	1	8
渋川市	3		3
藤岡市	1	1	2
群馬県			
富岡市	17		17
伊勢郡	2	3	5
前橋市	4	4	4
高崎市	3	3	3
桐生市	2	2	2
沼田市	5	5	5
佐波郡	1	1	1
埼玉県			
熊谷市	1	1	1
深谷市	1	1	1
上尾市	2	2	2
北足立郡	2	2	2
長野県			
小諸市	1	1	1
合計	108	97	216

入こども園は、新制度移行を義務化された。そのため公立幼稚園に対する就学奨励・国庫負担が交付税扱いになり、実質、荒川区で2,000万円の国庫補助金が削減になるといふ。父母の願いと自治体の実態に反する制度変更が、何とも歯がゆい。